山県市議会

継続審査の請願を廃案

市長に再議の申立書

継続審査となったはずの請願を、山県市議会が廃案にしたとして、寺町知正市議が2日、再議に付す権限を持つ平野元市長に対し、再議を求める申立書を提出した。議会事務局が「事務上の手続きミスだった」と誤りを認めており、市側が再議について検討を始めた。

廃案にされた請願は、9月8日に住民グループが提出した「市議会の各種会議の法定化と透明化を求める請願」。同16日の9月定例会本会議で趣旨説明と質疑が行われ、議会運営委員会に付託された。議会運営委は25日、今定例会では採択議決せずに継続審査とすることを決めた。だが、26日の定例会最終日では、継続審査の議決が行われず、請願が廃案となってしまった。

寺町市議は「請願が議会によって消滅させられてしまったなんて話は、聞いたことがない」と批判している。

国会の場合、議決は最終的だが、地方議会の議決は地方公共団体の長が再度、議会の議決に付すことが認められている。

【鈴木敬子】

2008.10.3 毎日

会議の公開請願 再議を申し立て

山県市長に市民団体

山県市の市民グループ「山県市の条例や制度を考える会」は二日、市議会の各種会議の公開などを求めた請願を、議会で再議するよう平野元市長に申し立てた。

請願では、全員協議会などの各種会議を会議規則に位置付け、常任委員会とともに公開を原則とすることなどを求めており、市議会九月定例会の議会運営委員会で継続審査が決まっていた。

しかし、その後の本会議で継続審査の議決をしなかったため、請願は廃案。市民グループは請願権の侵害などとして、市議会を直ちに召集して再議することを求めた申立書を、平野市長に提出した。

藤根圓六議長は「事務的なミス。廃案にするつもりはなかった」とし、市は「再議するかどうかはまだ決めていない」としている。

（山田雄大）

2008.10.3 岐阜

山県市議会

市民の請願 議決を怠る

手続きミスで廃案に

岐阜県山県市の市民グループが市議会全員協議会（全協）の公開などを求めて出した請願が、市議会の本会議から付託された議会運営委員会で継続審議とされたものの、その決定が本会議で報告されず、議決を怠ったため廃案になった。

県市町村課は「こうした例は聞いたことがない」としている。

この市民グループは二日、廃案になった手続きは違法だとして、請願を再び審議するよう市長に市議会の招集を求める申し立てをした。

請願は、全協をはじめ市議会の各種会議の公開と透明化を求めたもので、九月八日の市議会に出され、趣旨説明と質疑があり、付託された同二十五日の議運で継続審議と決まった。しかし、翌二十六日の本会議で上程されず、継続審議の手続きがされなかった。

請願を紹介した寺町知正市議（無所属）は「憲法で保障された市民の請願権が侵害された」と訴えている。

これに対し藤根円六議長は「十二月議会で詳しく審議をしたいという議運の決定を本会議で報告せず、議決もしなかったのは手続き上のミス。対応を検討している」と話した。

2008.10.3 中日